PCW-1279J(13041)

施工説明書

低流動圧対応ブースター（外付け縦置き仕様）

CWA-237

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。

安全のために守ってください！

低流動圧対応ブースターを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

注意・・・取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

仕　様

品番		CWA-237
給水圧力	静水圧	0.15 ～ 0.75MPa {1.6 ～ 7.6kgf/cm²}
	流動圧	0.05MPa 以上（13L/ 分流動時）

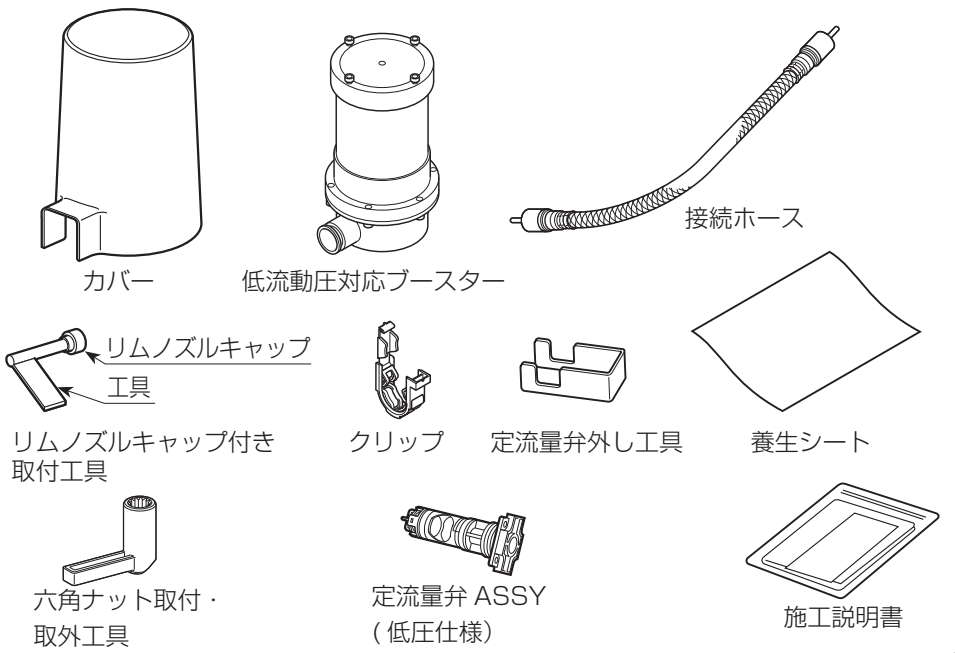
この低流動圧対応ブースターは、外付け縦置き仕様の機能部用品です。

- 水道圧が 0.07MPa {0.7kgf/cm²}（17L/ 分流動時）以上確保できず、十分な便器洗浄ができない場合にご使用ください。

施　工　前　の　ご　注　意

- 冬期凍結の恐れがある地域では、必ずトイレ室内の暖房を行うか、水抜きを行ってください。ブースターが凍結すると、故障や破損の恐れがあります。
- ブースター設置については、各自治体の規定に従ってください。
- 止水時0.15MPa以上、流動圧0.05MPa(13L/分)以上でないと使用できません。
- 水圧の測定には、水圧判定治具（CWA-234）を使用してください。

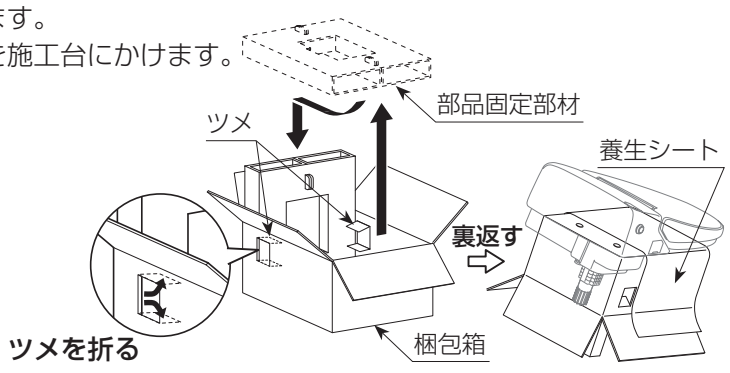
部品の確認（梱包内容を確認してください。）



施　工　前　の　準　備

●施工台の設置

(1) 低流動圧対応ブースターを取付けでき、機能部を置ける広い場所を確保します。
(2) 梱包箱から部品と部品固定部材をすべて取り出します。
(3) 部品固定材を下記のようにして、梱包箱のサイドのツメを折って固定し、箱を裏返します。
(4) 養生シートを施工台にかけます。



施工業者さまへ
施工完了後は、必ずお客さまに本書（施工説明書）をお渡ししていただくとともに、取り扱い上の注意をしてください。

ご使用になるお客さまへ
この度は当社商品低流動圧対応ブースターをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。冬季凍結の恐れがある場合や、長期間ご使用にならない場合は、水抜き操作を行い、水を抜いてください。（手順最後参照）
以下の注意点をお読みになり、ご使用ください。

■取り扱い上の注意

⚠注意

施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
指示実行

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※プラスチック部が割れてケガの原因になります。

禁止

接続ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。
禁止

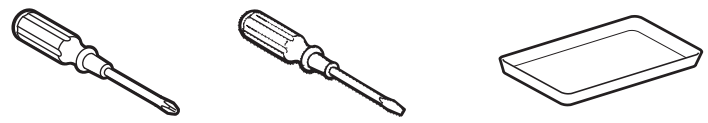
ブースター本体の上に乗らないでください。
※ 破損してケガをすることがあります。
禁止

直射日光が当たらないようにしてください。
※カバーが変色することがあります。
禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因になります。
火気禁止

準　備　工　具

プラスドライバー、マイナスドライバー、水受けトレイを別途準備してください。



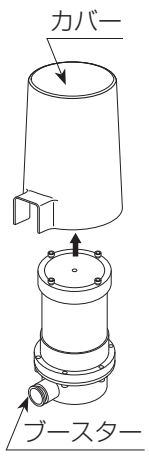
施　工　範　囲　の　確　認

●ブースターの仮置き

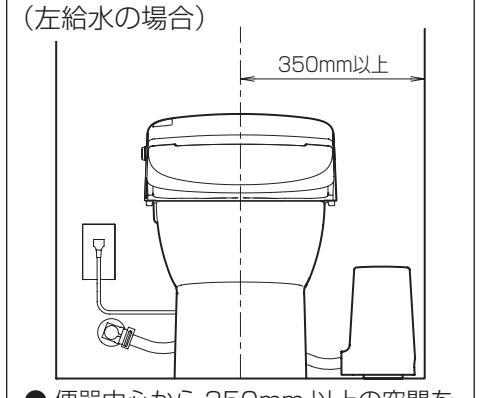
(1) ブースターからカバーを外します。
(2) 止水栓設置位置の便器向かって対象側に、ブースターが設置できる空間があることを確認します。

注意 1 参照

※右給水の場合は、逆側に施工してください。



必要施工範囲
（左給水の場合）



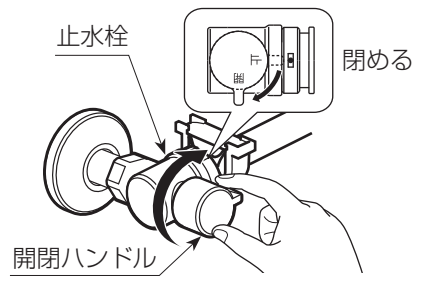
● 便器中心から 350mm 以上の空間を確保してください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

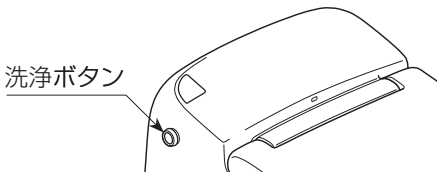
施　工　方　法

1 機能部の取外し

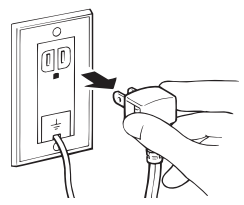
(1) 止水栓の開閉ハンドルを閉めます。　注意 2 参照



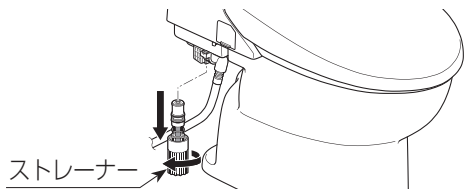
(2) 洗浄ボタンを押し、20 秒程度時間をあけます。
※内部にたまっている水と圧力を抜きます。



(3) 電源プラグをコンセントから抜きます。　注意 3 参照

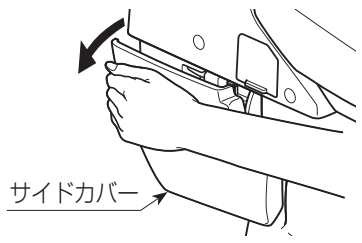


(4) ストレーナーの下にトレーや布などを置いて、ストレーナーを外し、本体内の水を抜きます。
※ストレーナーを外すとき、水がこぼれます。(100cc 程度)

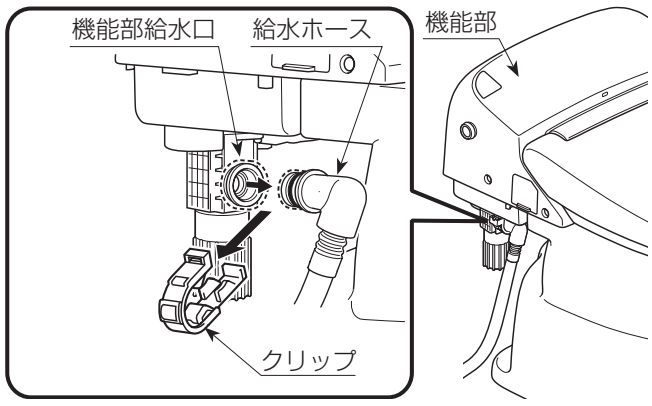


(5) ストレーナーを取り付けます。
※すき間がないようにしっかりと締め込んでください。

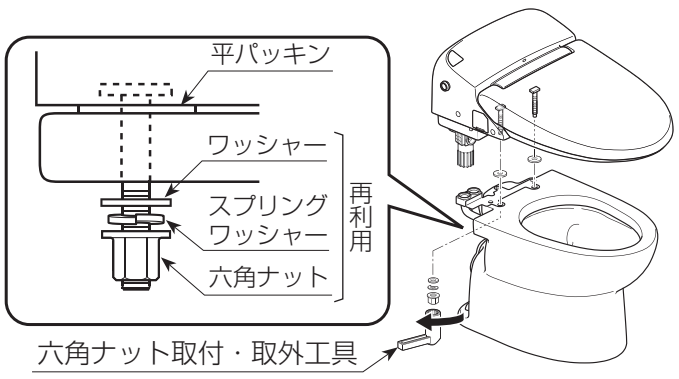
(6) サイドカバーを取り外します。(マンションタイプのみ)



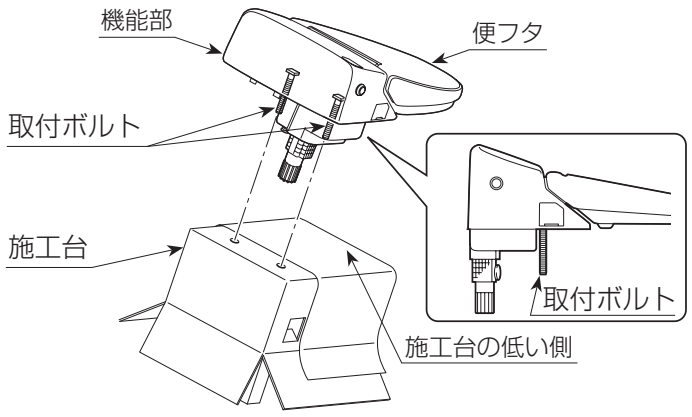
(7) 機能部の給水ホースを外します。
①クリップを外します。　参考 1 参照
②給水ホースを機能部給水口から取り外します。
このとき、給水ホース内の水が床にこぼれないように注意してください。　注意 4 参照　注意 5 参照



(8) 六角ナット取付・取外工具を用い、六角ナットなどを取り外します。
※六角ナットなどは再利用します。

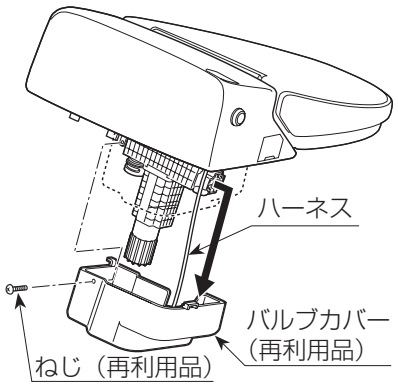


(9) 機能部を取り外し、施工台に置きます。
※便フタ側が、施工台の低い側になるように設置します。
※取付ボルトが、折れないように注意してください。
※機能部は直接床に置かないでください。

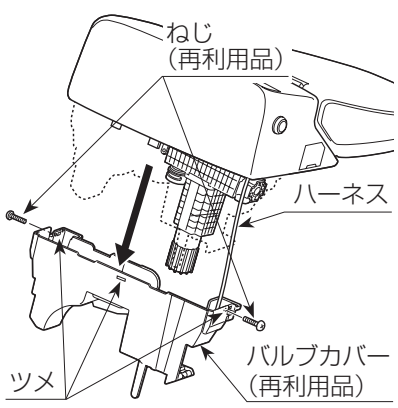


2 接続ホースの取付け

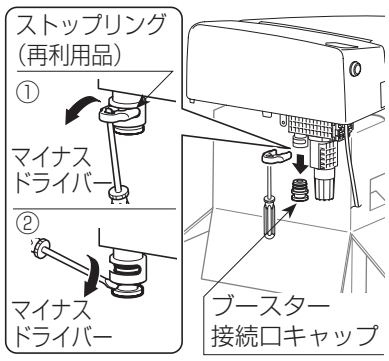
(1) 機能部背面のねじ(1 本)を外し、バルブカバーを右へスライドさせて、下方向に取り外します。
※バルブカバーとバルブの給水口が当たらないように、少し回転させながら取り外してください。
※ねじは再利用します。　注意 6 参照



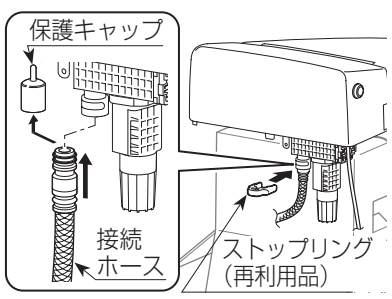
マンションタイプ(サイドカバー付き)は、バルブカバーの左右のねじ(各 1 本)を外し、下方向に取り外します。
※左右と後ろのツメで引っかけて固定していますので、少し斜めにしながら取り外してください。



(2) マイナスドライバーで、ストップリングを取り外し、ブースター接続口キャップを引き抜きます。
※ストップリングは再利用します。
※ブースター接続口キャップを外すときに、少量の水がこぼれます。



(3) 接続ホースの保護キャップを片側のみ外して、機能部側ブースター接続口に接続し、ストップリングで固定します。
※奥まで入っていることを確認してください。



注意 7 参照　注意 8 参照

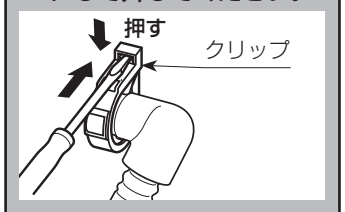
マンションタイプ(サイドカバー付き)は、3 (4) のマンションタイプの取付イラストのように、先にバルブカバーに接続ホースを通して、接続口と接続してください。

注意 1
ブースターは、必ず安定した床に置いてください。

注意 2
止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

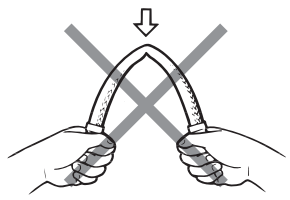
注意 3
電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。

参考 1
●クリップを外す際には、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押すようにして外してください。



注意 4
O リングにキズが付かないように注意してください。
※ O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。

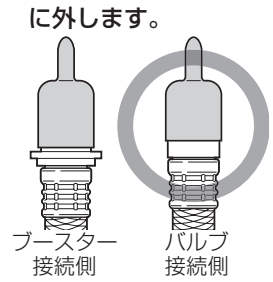
注意 5
給水ホースは鋭角に曲げたり、引っ張られている状態にしないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。洗浄不良の原因にもなります。



注意 6
バルブカバーを取り外す時は、ハーネスが外れないよう引っ張り過ぎないでください。

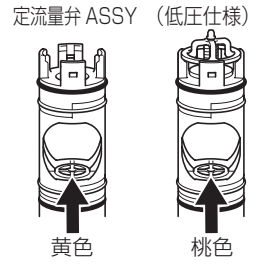
注意 7
接続ホースの接続口キャップは、接続する直前に外してください。
※施工中に接続ホース内へゴミなどが入り、止水不良となる恐れがあります。

注意 8
ツバがない金属(黄色)側の保護キャップを外します。
※ツバありの金属(シルバー)側保護キャップは、外さないでください。ブースター接続時に外します。



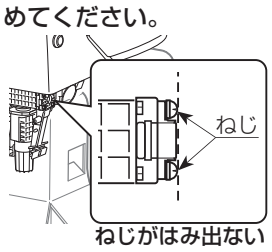
注意 9

既設の定流量弁 ASSY と定流量弁 ASSY（低圧仕様）の付け間違いに注意してください。



注意 10

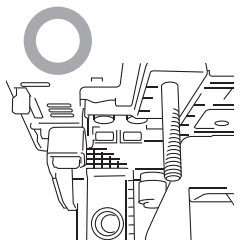
ねじ締めは片締めのないように、均等の力でしめてください。
また、定流量弁 ASSY の先端部分よりねじ頭がはみ出ないようにねじを締めてください。



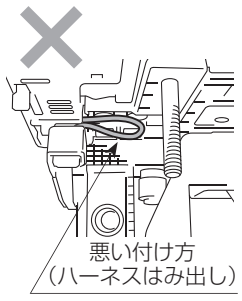
ねじがはみ出ないようにします。

注意 11

ハーネスがバルブカバーや本体カバー内に収まるようにバルブカバーを取り付けてから機能部を便器に施工してください。
バルブカバーを取り付ける時は、ハーネスをはさまないようにしてください。
ハーネスがはみ出した場合は、バルブカバーを取り外してハーネスを機能部内に押し込んで取り付けてください。



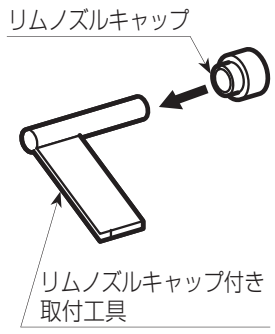
良い付け方



悪い付け方
（ハーネスはみ出し）

注意 12

工具からリムノズルキャップが外れている場合は、リムノズルキャップを工具にしっかり取り付けてから施工してください。



注意 13

クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※ きちんとはまっていないと漏水します。

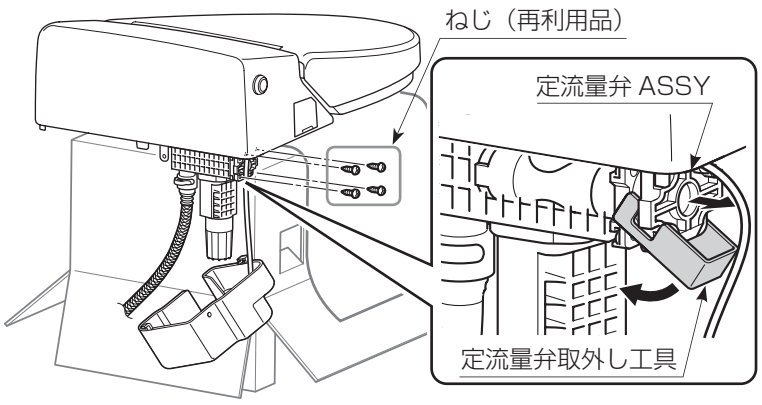
施　工　方　法

3 定流量弁 ASSY の交換

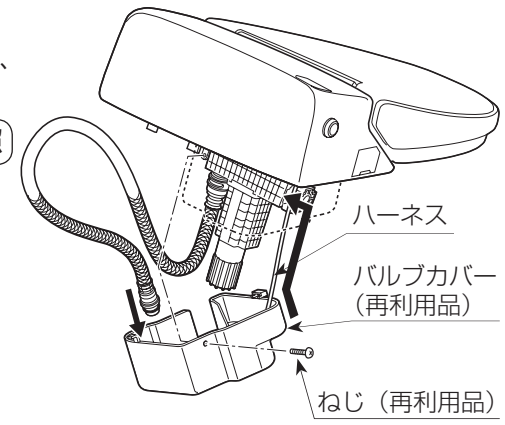
(1) 定流量弁 ASSY のねじ (4 本) を外します。
※ねじは再利用します。

(2) 定流量弁取外工具を用いて、既設の定流量弁 ASSY を取り外します。
※定流量弁 ASSY を外すときに、少量の水がこぼれます。

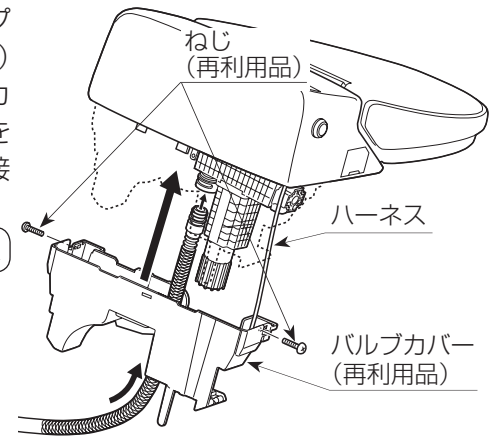
(3) 同梱品の定流量弁 ASSY（低圧仕様）を取り付け、ねじ (4 本) で固定します。 **注意 9 参照**
※取り付けるときに定流量弁 ASSY（低圧仕様）の O リングに汚れなどが付着していないことを確認してください。 **注意 10 参照**



(4) バルブカバーに接続ホースを通してから、再度取り付けます。 **注意 11 参照**

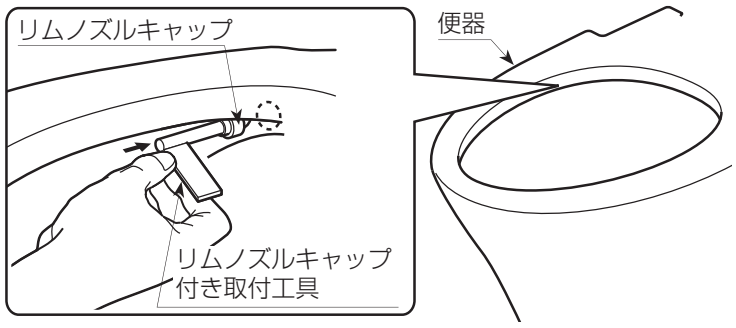


マンションタイプ（サイドカバー付き）は、先にバルブカバーに接続ホースを通して、接続口と接続してください。 **注意 11 参照**



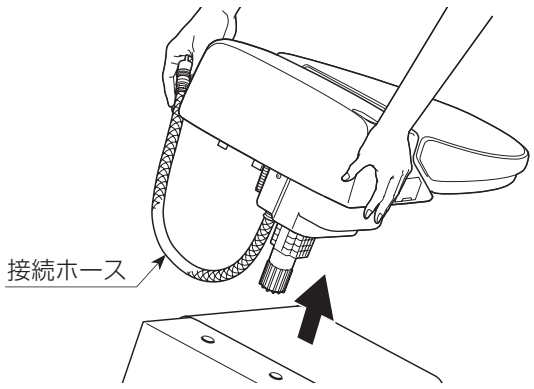
4 リムノズルキャップの取付け（便器）

(1) 便器の吐水口にリムノズルキャップをカチッと音がするまで、押し込み取り付けます。 **注意 12 参照**
※取付けできていないと、鉢洗浄ができません。



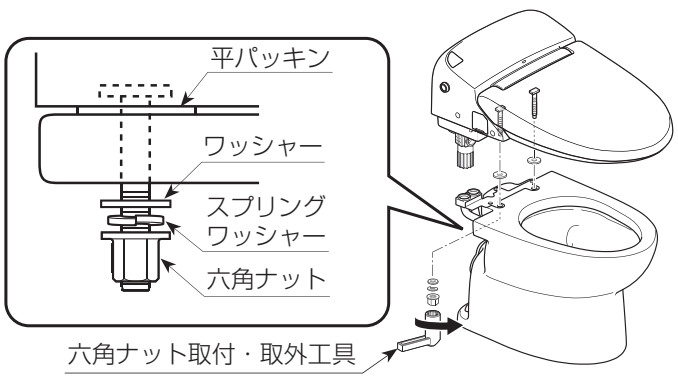
5 機能部の設置

(1) 接続ホースと機能部を持ち、施工台から外します。
※接続ホースの方向が、あらかじめブースターの方向に向くように持ち上げてください。

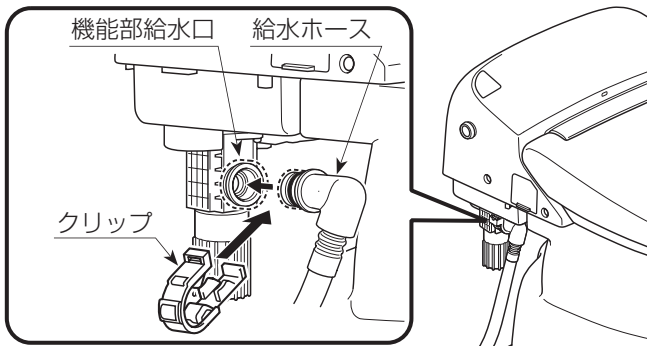


(2) 接続ホースの先をブースターを設置する方向へ向けて、機能部を便器に設置します。

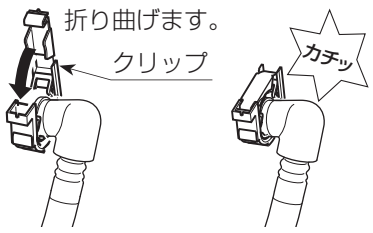
(3) 固定ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーと六角ナットを取り付け手で仮締めし、六角ナット取付・取外工具で確実に締め付けます。



(4) 機能部側の給水ホースを取り付けます。
①給水ホースを機能部給水口に取り付け、クリップで固定します。



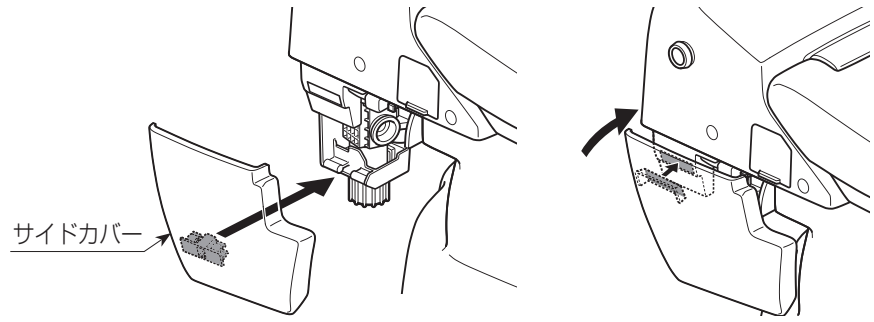
②クリップを折り曲げ、給水ホースと機能部給水口を確実に固定します。



注意 13 参照

施　工　方　法

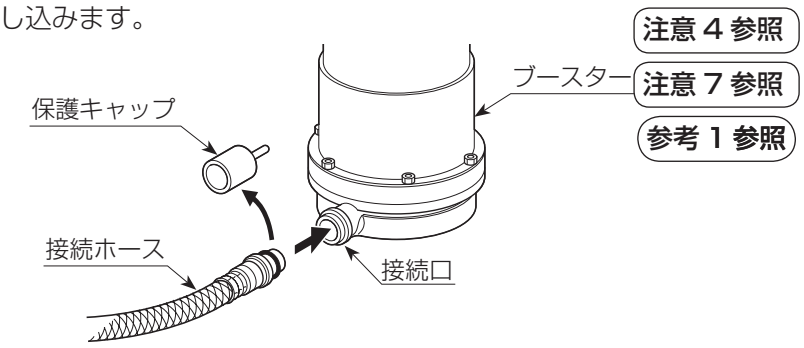
マンションタイプ（サイドカバー付き）は、サイドカバーを取り付けてください。
①サイドカバー側のクリップを本体のクリップ受けにはめ込みます。
②サイドカバー上部分の面ファスナーを取り付けます。
面ファスナーはしっかりと固定してください。



6 接続ホースと低流動圧対応ブースターの接続

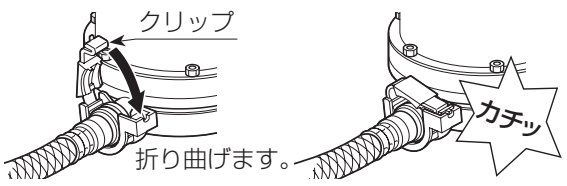
(1) ブースターを設置予定の場所に置きます。
※必ず施工前に施工範囲の確認を行ってください。
(2) 接続ホースの保護キャップを外して、ブースターの接続口に接続ホースを差し込みます。

注意 4 参照
注意 7 参照
参考 1 参照



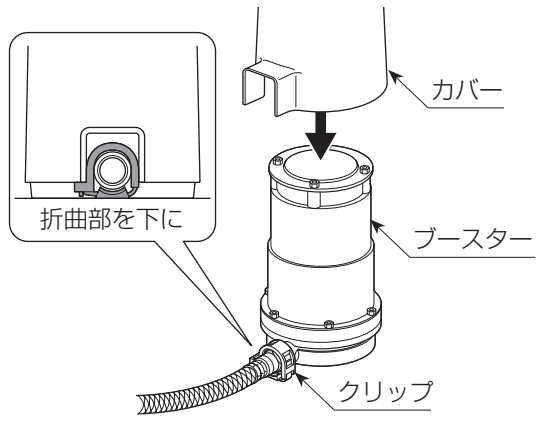
(3) クリップを折り曲げ、接続ホースとブースターの接続口を確実に固定します。

注意 13 参照

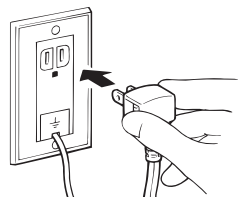


7 カバーの取付け

(1) ブースターにカバーをはめ込みます。
※クリップの折曲部（直線部）が下になるように回転させてからカバーをはめ込んでください。

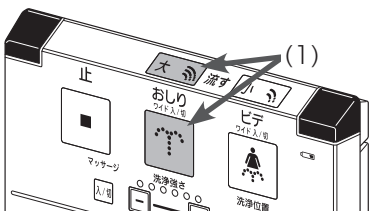


(2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

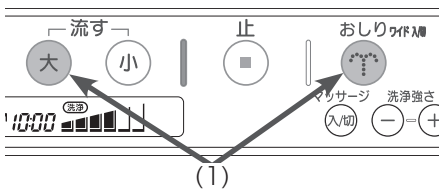


8 機能部のモード変更

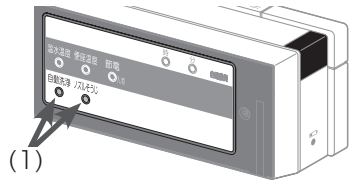
●壁リモコンの場合
(1)「おしり」＋流す「大」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。



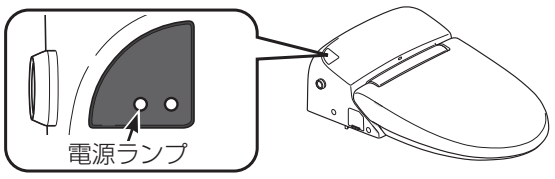
●インテリアリモコンの場合
(1)「おしり」＋流す「大」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。



●スマートリモコンの場合
(1)「ノズルそうじ」＋「自動洗浄」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。

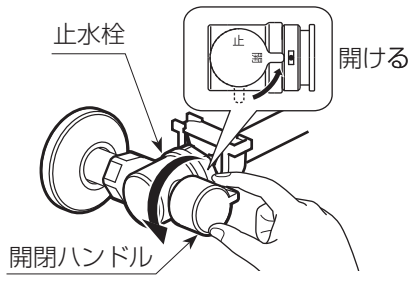


(2) 通常モード→低圧モードに変更した場合、電源ランプが 1 回点滅します。
同じ操作をすると、低圧モード→通常モードに戻り電源ランプが 2 回点滅します。

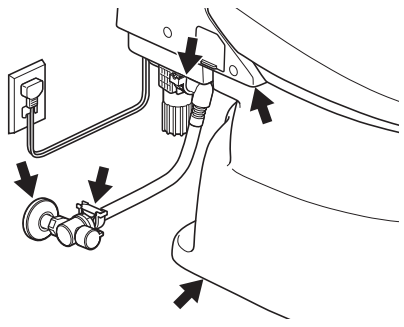


9 試運転

(1) 止水栓の開閉ハンドルを全開にします。



(2) リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を数回行い、ブースター内のエアを抜きます。
(3) 各接続部に漏水がないことを確認します。
(4) 便器鉢内に長さ約 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、1 回の洗浄で排出できることを確認します。



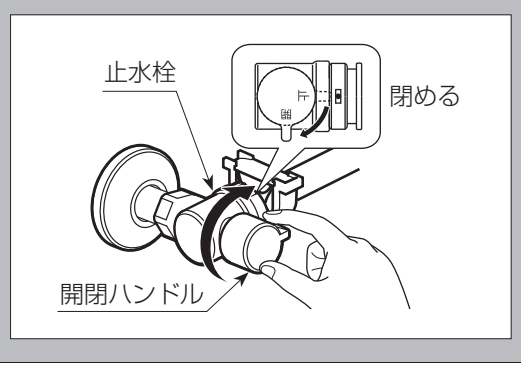
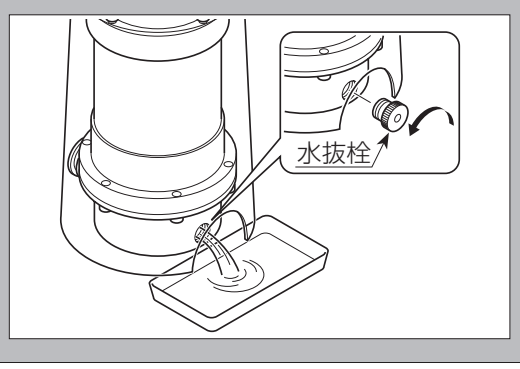
チェック表

施工に起因する不具合を防止するために、**施工・試運転終了後**、再度以下内容のチェックを必ず実施し、チェック欄にチェック（√）を記入してください。
施工が不十分ですと**漏水、作動不良などの原因**となります。

	チェック欄
■ リモコンでモード変更を行いましたか？	□
■ 止水栓を全開にしましたか？	□
■ 漏水確認はしましたか？	
・止水栓と壁との接続部	□
・止水栓と給水管の接続部	□
・止水栓と給水ホースの接続部	□
・便器と機能部の接続部	□
・便器と床との接続部	□
■ 便器洗浄は正常ですか？ ※もし 1 回の洗浄で流れない場合は、下記の項目を確認してください。	
・ストレーナーにゴミや詰まりがない	□
・給水ホースが折れていない	□

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

(1) 止水栓の開閉ハンドルを閉めます。
(2) リモコンの流すスイッチを押し、20 秒程度時間をあけます。
※内部にたまっている水と圧力を抜きます。



(3) 水抜栓の下に浅いパレットなどを置き、水抜栓をゆっくりゆるめます。
※200cc 程度の水が出ます。
(4) 水が抜けたら、水抜栓をしっかりと締めます。